

【EMD.GR.JP 掲載のニュース】 (2003年9月17日～ 2003年11月15日分)

米 CNET、MP3.com の資産を買収

米 CNET Networks は、Vivendi Universal の保有する音楽サイト「MP3.com」の資産を買収したことを、MP3.com 内の掲示板で発表した。

掲示板で公表されている内容によると、MP3.com の Web サイトは 2003 年 12 月 2 日をもって利用できなくなり、これまで MP3.com のサイトにデータを保存していたユーザーには、できるだけ早くほかのホスティングサービスに移行するよう勧めている。

なお、買収する CNET には、MP3.com ユーザーの個人情報は移行しない。

CNET Networks は CNET.com、Builder.com、GameSpot、mySimon.com、News.com、ZDNet などの IT 関連サイトを運営している企業。

(11/15)

10 月末の DSL 加入者数は 950 万突破

総務省から 2003 年 10 月末時点の DSL 加入者数の速報が発表された。それによると加入者数は 9,590,349 で、これは前月末の 3.9% 増。増加率は前月から変わらず。

内訳を見ると NTT 東西のフレッツ ADSL での加入者が 3,552,295。他事業者経由の DSL 加入者が残りの 6,038,054。NTT 東西のフレッツ ADSL のシェアは 37.0%と前月から 0.2%のマイナス。

(11/14)

Mzone、JR 東日本の無線 LAN 実験とローミング開始

NTT ドコモは、公衆無線 LAN サービス「Mzone」を利用しているユーザーの、東日本旅客鉄道 (JR 東日本) 各駅等での利用意向や利用状況の調査を目的として、JR 東日本及

び日本テレコムが共同で、2001 年 9 月より実施している「無線による、駅でのインターネット接続実験」へ参加すると発表した。

ローミング実験は 11 月 17 日 10 時～12 月 19 日の期間に行なわれ、12 月 16 日までに NTT ドコモのサイトにてモニター申し込みをすることで、無料で利用できる。ただし、Mzone の利用料金は別途必要となる。

ローミング実験が行なわれるサービスエリアは、東京駅、新宿駅、渋谷駅、上野駅、品川駅、池袋駅、横浜駅、八王子駅、吉祥寺駅、高崎駅、郡山駅、福島駅、山形駅、仙台駅、秋田駅、盛岡駅、八戸駅、札幌駅、函館駅など。

なお、「無線による駅でのインターネット接続実験」から Mzone サービスエリアへのローミングは行なわれない。

(11/13)

シャープ、モバイル機器に適した LC フォント生成技術を開発

シャープは、携帯電話や PDA などのモバイル機器の液晶画面上に表示される文字を、読む人の好みに応じた文字サイズにリアルタイムに生成する「LC フォント生成技術」を開発したと発表した。

従来のモバイル機器で使用するフォントは、一般的にサイズ毎にデータを準備する必要があり、搭載しているメモリ容量の制約から、数種類のサイズしか搭載できないため、ユーザーの好みに応じた文字サイズのバリエーションに限界があった。

今回発表された技術では、独自のアルゴリズムを用いたソフトウェアの開発により、従来の LC フォントがもつ文字の美しさや見やすさを損なわずに、大小の複数サイズの文字生成をリアルタイムに行なうことが可能となっている。

また、従来のモバイル機器には無かった縦長文字や横長文字の生成も実現。多くの文字サイズ、形状のバリエーションを持たせることができると共に、ソフトウェアによって文字サイズ、形状を生成するため、それぞれのサイズに必要なフォントデータを必要とせ

ず、モバイル機器に文字データを搭載する際に必要なメモリ容量の低減にも寄与としている。

(11/13)

ボーダフォンでも「着うた」スタート

米ボーダフォンは、2003 年 12 月 1 日より三洋製の VGS (Vodafone Global Standard) 端末「V801SA」を発売することにあわせて、VGS 端末向けにインターネット接続サービスである「ボーダフォンライブ!」の提供を同日付で開始、新たに「着うた」配信サービスを提供すると発表した。

これまでの VGS 端末では、ショートメッセージのやり取りは可能だったが、写メールやムービー写メールなどには対応していなかった。V801SA ではそれが可能となり、1 通あたり最大 200KB (テキスト送信は 20KB、全角 10,000 文字相当まで) の送受信ができる。

また、新たに「着うた」配信サービスも提供され、開始当初は、レーベルモバイルの「レコード会社直営」や「絶対! 洋楽」など 9 サイトが登場する。

このほか、海外ローミングによって音声通話だけではなく、ボーダフォンライブ! へも渡航先からアクセスできるようになる。サービスエリアは、アメリカ (ハワイ含む) やシンガポール、中国などのアジア地域、西欧諸国など 26 の国と地域。

通信方式は、国内では W-CDMA 方式、海外では GPRS ネットワーク (General Packet Radio Service) とデュアル対応となる。

(11/13)

米 RealNetworks、Intel と提携しホームステレオから Rhapsody を利用可能に

米 RealNetworks は、Intel と提携し、ホームステレオからオンライン音楽サービス「Rhapsody」を利用できるようにすると発表した。

RealNetworksは、Intelの「Universal Plug and Play (UPnP) Authoring Tools」を利用して、現行バージョンのRhapsodyに家庭内ネットワーク技術仕様「UPnP」へのサポートを組み込んだ。

これにより、Rhapsodyはデジタルオーディオ製品とやり取り可能となり、ユーザーはホームステレオやホームシアターといったシステムを介して、パソコンの音楽にアクセスできるようになる。

システムに対応したホームステレオ製品は、Rockford Corporationの「Omnifi」の最新バージョンが2003年11月14日から出荷されるほか、今後も複数メーカーから出荷される予定。

(11/11)

東芝、1.8型HDDを増産

東芝は、ポータブルオーディオプレーヤーやノートパソコン用の1.8型HDDの需要増を受け、2004年3月をめぐり、生産能力を現在の約2倍の月産60万台に増強すると発表した。

1.8型HDDは、ノートパソコンやポータブルオーディオプレーヤーなどを中心に需要が拡大している。

東芝では、省スペース化、軽量化、低消費電力などのデジタル家電製品のニーズにあわせた製品の小型化傾向が続くと予測し、1.8型HDD市場は2006年に2,500万台の規模になるとしている。

東芝は、2000年5月に初めてPCカードタイプの1.8型2GBモデルの量産を開始。その後、2001年には内蔵用5GBモデル、2002年には20GBと30GBモデル、2003年は40GBモデルを投入するなどし、2003年10月末には生産累計が300万台を達成している。

なお、生産能力の増強は、松下寿電子産業などの外部委託先への生産委託量拡大により行なうとしている。

(11/11)

バッファロー、無線LANをワンタッチで設定できるシステムを開発

バッファローは、ワンタッチで無線LAN機器の接続およびセキュリティの設定を自動的に行なう「AirStation One-Touch Secure System (A.O.S.S.)」を発表した。

「A.O.S.S.」を用いることで、ネットワーク家電を、パソコンを用いることなく、ワンタッチでセキュアな無線LANネットワークに接続可能となる。

暗号化方式は、標準的な「WEP」(64/128bitWEP)のほか、最新のセキュリティWPAにも採用されている「TKIP」、米政府の標準暗号化方式として採用されている強固な「AES」に対応しており、「A.O.S.S.」がそれぞれの機器のセキュリティ機能レベルを判断、最適な暗号化方式に自動設定する。

通常のパソコンを接続する際も、ワンタッチでセキュアな無線LANネットワークへの接続が可能となっており、現行のAirStationの多くは、ファームウェア、ソフトウェアのアップデートにより、「A.O.S.S.」に対応する。

バッファローは、Broadcom Corporationをはじめとする世界の無線モジュールベンダーより、省電力・小型で高性能な無線LANモジュールを調達し、それを「A.O.S.S.」ファームウェアとセットにして、家電メーカーなど各社に提供。

A.O.S.S./無線モジュール搭載機器に関し、無線ネットワーク関係のサポートを一括して請負。電話サポート、訪問設定サポート、訪問アフターサポートなどを通して、メーカーを問わず、ワンストップアフターサービスを提供する。

(11/11)

有線ブロード、取り付け数が10万件を突破

有線ブロードネットワークスは、ブロードバンド事業（FTTHブロードバンドインターネットサービス）について、2003年10月末時点の進捗状況を発表した。

これによると、工事日が確定している契約者数が173,805件、回線が開通している取り付け数が104,567件となった。

前月2003年9月末時点のものに比べると、契約者数で約13,000件、取り付け数で約8,000件となる増加となっている。

なお、集合住宅における1棟あたりの平均加入戸数は4.17、集合住宅取付棟数は23,057となっている。

(11/10)

マイクロソフト、Windows Media Player 9 for Mac OS Xを公開

マイクロソフトは、Macintosh用メディアプレーヤーソフト「Windows Media Player 9シリーズ for Mac OS X (WMP 9 for Mac)」を公開した。対応OSはMac OS X 10.1.5以降。

WMP 9 for Macは、1月より提供開始されているWindows用のWM9シリーズに含まれている音声/映像コーデックに対応した、Macintosh用のプレーヤーソフト。

新規対応コーデックは以下の通り。

- ・Windows Media Audio 9 Standard
- ・Windows Media Audio 9 Voice
- ・Windows Media Audio 9 Lossless
- ・Windows Media Audio 9 Professional
- ・Windows Media Video 9 Standard
- ・Windows Media Video 9 Image
- ・Windows Media Screen codec Version 7

なお、Windows Media Audio 9 Professionalの5.1chマルチチャンネル出力には対応せず、ステレオダウンミックスとなる。

さらに、WMP 9 for Macは、Apple Safariブラウザのプラグインを提供、さらにスキンも追加される。

また、デジタル著作権管理(DRM)技術のMicrosoft Windows Media Rights Managerバージョン1.3にも対応しており、コンテンツの再生期間の制限設定や再生回数を1回に制限することなども可能となっ

ている。

(11/10)

Napster、大学内音楽サービスを発表

米 Roxio は、Penn State University との間でオンライン音楽サービス「Napster 2.0」に関して契約を結び、学生に対して Napster のプレミアムサービスを無償で提供することで合意したと発表した。

この契約により、同大学の 24 のキャンパスに点在する約 8 万 3,000 人の学生は Napster が提供する 50 万曲を無制限にストリーミング視聴できるようになる。

さらにプレミアムサービスで提供される 40 のインターネットラジオ局、ビルボードチャートデータ、オンラインマガジンやコミュニティサービスを利用できる。

さらに、楽曲をダウンロードして CD に書き込んだり、ポータブルデバイスに転送したりして利用したい学生に対しては 1 曲あたり 99 セントで提供される。

この契約は 2003 年 1 月に始まる春学期から発効し、2003 年秋には同大学のすべての学生と教授やスタッフにまで契約を広げ、最終的には全米最大規模を誇る同大学の学生会 15 万人にもこのサービスを提供したいとしている。

(11/7)

アットマークテクノ、P2P 型インターネットラジオ受信端末を開発

アットマークテクノは、世界初の P2P 型インターネットラジオ受信端末「PeerGarden (ピアガーデン)」を開発したと発表した。

「PeerGarden」では PeerCast.org によって開発されているオープンソースソフトウェア「PeerCast」を使用。配信されたコンテンツの受信者が、さらにほかの受信者に対してパケットリレー的に配信することができる。

音声圧縮技術は「Ogg Vorbis」を採用。Cirrus Logic 社の ARM エンベデッドプロセ

ッサ CS89712 を採用することにより、オーディオの処理やネットワークへの対応、液晶表示の制御などを 1 チップで実現している。

ネットワークのインターフェースとしては Ethernet の他にコンパクトフラッシュ型の無線 LAN カードを使用することも可能となっている。

アットマークテクノでは、家電メーカーや通信機器メーカーに向けて「PeerGarden」で使用されているハードウェアの設計からソフトウェアのカスタマイズまで様々な技術の提供を行なっていくとしている。

(11/6)

JR 西日本、駅での無線 LAN サービスでローミング実験開始

西日本旅客鉄道 (JR 西日本) と NTT コミュニケーションズ (NTT Com) は、西日本電通電話 (NTT 西日本) と共同で実施している無線 LAN サービス「エキ LAN スポット」と、東日本旅客鉄道 (JR 東日本) および日本テレコムが実施している「無線による、駅でのインターネット接続実験」とのローミングトライアルを 2003 年 11 月 6 日より開始すると発表した。

今回のローミングトライアルは、無線 LAN サービスにおいて大手プロバイダーへの商用ローミングサービス提供を国内で初めて実現するなど無線 LAN ローミングに積極的に取り組んできた NTT Com の技術を応用することにより可能となったもの。

「無線による、駅でのインターネット接続実験」の利用者は、ポータブル携帯電話端末で発行する「1DAY-ID/パスワード」を取得することで、「エキ LAN スポット」実験エリアにて無線ブロードバンドを利用できる。

ローミング実験が行なわれるサービスエリアは、新大阪駅在来線改札内乗換待合スペース、喫茶「フロラ新大阪」、新神戸駅新幹線改札内待合スペースの 3 カ所。

実験期間は 2003 年 12 月 19 日までの予定。

(11/5)

KDDI、CDMA 1x EV-DO と IEEE 802.11a のシームレス通信に成功

KDDI、KDDI 研究所は、複数の通信メディアを自動的に切替えてシームレスな通信を実現する車載用モバイルルータシステムを開発、2GHz 帯データ通信 (CDMA 1x EV-DO 方式、データ通信速度は最大 2.4Mbps) と IEEE 802.11a の無線 LAN (最大 54Mbps) とのネットワーク間におけるシームレス通信に成功したと発表した。

このシステムにより、通常、通信メディアが変わるごとに必要な再接続やログインなどの煩雑なユーザー操作が不要となり、車内外の様々なネットワーク間で、通信環境に最適な通信メディアを利用しながらシームレスな通信を行うことが可能となる。

モバイルルータはオーディオ機器と同じ小型 1DIN サイズ (縦 50mm × 横 178mm) を実現。CDMA 1X、CDMA 1x EV-DO、無線 LAN、PHS など複数の無線ネットワークに対応し、通信エリアや通信速度、通信料金などを基準に最適なネットワークを選択する。

カーナビ、映画などストリーミング配信のできる AV 機器やセンサをはじめとする車内の機器だけでなく、車外から持ち込まれた PC や PDA (携帯情報端末) などの情報通信機器が車内ネットワークに自動的に接続され、いつでもどこでも最適な通信メディアを利用しながらシームレスな通信が可能となる。

(11/1)

iTunes for Windows 日本語版を公開

アップルは、デジタルジュークボックスソフトウェア「iTunes for Windows 日本語版」を 2003 年 10 月 31 日より公開を開始した。

バージョンは 4.1.1、プログラムサイズは 19.4MB、対応 OS は Windows 2000/XP となっている。

iTunes for Windows は、Macintosh 版 iTunes と同等の機能を実現。iPod との連携に加え、音楽 CD から MP3 および AAC へのエンコード、スマートプレイリスト機能を搭載する。

また、CD-R/RW の作成や、コンテンツを記録型 DVD へバックアップする機能なども備え、250 以上の無料インターネットラジオ局も聴取できる。

さらに、ネットワーク上で「Rendezvous」を使用し、Macintosh、Windows の両プラットフォームで音楽の共有も可能となっている。

(11/1)

松下、128MB の miniSD カードを発売

松下電器産業は、容量 128MB の miniSD カード「RP-SS128BJ1K」を 2003 年 11 月 15 日に発売すると発表した。価格はオープン。

発売済みの 32MB、64MB に加え大容量タイプをラインアップに加える。

転送速度は 2MB/秒。著作権管理機能も備え、付属アダプターを使えば、通常の SD メモリーカードスロットでも利用できる。

(10/31)

So-net、PHS 通信サービスで PDA 専用定額コース

ソニーコミュニケーションネットワーク（サービス名称：So-net）は、PHS 定額制データ通信サービス：「bitWarp（ビットワープ）」に特定 PDA 専用の「bitWarp PDA」コースを新設すると発表した。

サービスの申込受付は 11 月 19 日より開始される。利用料は月額 2,000 円。

このサービスは、DDI ポケットとアジアパシフィックシステム総研が共同開発した「機器認証機能」を搭載した PDA 機器の利用に限定される。

2003 年 10 月 30 日現在、対応機種は発売されておらず、対応機種の状況については So-net より随時 HP にて告知するとしている。

利用には、機器認証機能を搭載した PDA のほかに bitwarp 専用のコンパクトフラッシュ型 PHS 通信カード「VN-201」が必要。通常価格 19,800 円だが、2004 年 1 月末までは 4,800 円で提供される。

またサービス利用開始時に必要な登録手数料（1,000 円）も同じく 2004 年 1 月末まで無料となっている。

(10/31)

総務省、9 月末のインターネット利用者数を発表

総務省は、2003 年 9 月末の時点でのインターネット接続サービスの利用者数速報を発表した。

いわゆるブロードバンドの利用者数としては、CATV インターネットが 233.9 万人、DSL が 9,228,686 人、FTTH が 688,450 人。

一方、ダイヤルアップ型の加入者数は 1,946 万人。

(10/31)

Roxio、「Napster 2.0」サービスを開始

米 Roxio は、有料音楽ダウンロードサービス「Napster 2.0」の正式サービスを 2003 年 10 月 29 日から開始したと発表した。

Napster 2.0 のクライアントソフトは無償でサイトからダウンロードでき、約 50 万曲を試聴できる。

ダウンロード購入の料金コースは、1 曲 99 セントかアルバム 1 枚につき 9.95 ドルの従量制。

ダウンロードした音楽は、Napster 2.0 に統合されている CD 書き込みソフトを利用して CD に書き込んだり、ポータブルプレーヤーに転送したりすることが可能。

また、Napster コミュニティ上に、自分の保有する音楽リストを共有できる。

さらに、上位サービスとして用意されてい

る「Napster 2.0 plus」では、Napster のすべての機能を利用できる上に、広告の入らない 40 以上の双方向ラジオ局を月額 9.95 ドルで聴くことができる。

Napster 2.0 は、Windows Media Audio 9 を採用、Windows Media Player 9 のプレミアムサーバスタブからもサービスを利用できる。

(10/30)

Microsoft、「Media2Go」の正式名称を決定

米 Microsoft は、コードネーム「Media2Go」としていた HDD 搭載ポータブルビデオ/オーディオプレーヤーの正式名称を「Windows Mobile software for Portable Media Centers (Windows PMC)」に決定したと発表した。

Windows PMC は、液晶ディスプレイと HDD を搭載したポータブルプレーヤーで、Intel の XScale プロセッサと Microsoft の Windows CE .NET をベースにしたソフトウェアプラットフォームより構成される。

Windows Media 9 Series と MP3 をサポートし、HDD に蓄積した動画や静止画を液晶ディスプレイで見ることのできるポータブルオーディオプレーヤーとして利用することができる。

ハードウェアは、ODM メーカーの Tatung と AboCom Systems が基本デザインを行なう。

Creative Technologies、iRiver International、Samsung、三洋電機、ViewSonic などが製品化を予定しており、2004 年下半期には登場が見込まれている。

(10/28)

Roxio、「Napster 2.0」用プライベートカード発売

米 Roxio は、米国内で Napster 専用のプライベートカード「Napster Card」を販売すると発表した。

「Napster Card」は、Best Buy、CompUSA、

Kroger, Safeway, RiteAid, ExxonMobil, Duane Reade, Diamond Shamrock, Speedway/SuperAmerica といった米国内の小売店 14,000 店で発売され、価格は 14.85 ドル。

プリペイドカードは、Napster のロゴをあしらったプラスチック製。表面を削ると現れる暗証番号を Napster サイトで入力すると、15 曲分のダウンロードが可能となる。

Napster 2.0 は、Windows Media Audio 9 を採用、メディアエンターテインメント機能を充実させた OS「Microsoft Windows Media Center Edition 2004」に搭載されたほか、韓国サムスン電子の「Samsung-Napster Player」が発売される。

(10/28)

Dell、ポータブル HDD オーディオプレーヤーを発表

米 Dell は、ポータブル HDD オーディオプレーヤー「Dell Digital Jukebox (Dell DJ)」を発表した。15GB モデルと 20GB モデルが用意され、価格は 15GB モデルが 249 ドル、20GB モデルが 329 ドル。

Dell DJ は、日立製の 1.8 インチ HDD「Travelstar C4K20」を採用。対応コーデックは MP3、WMA。

2 インチの液晶ディスプレイを搭載し、本体内蔵のスクロールボタンやボリュームボタンで操作できる。

マイクも内蔵し、8kHz/モノラルの WAV 形式で録音が可能。バッテリーは内蔵リチウムポリマー充電電池を採用、連続再生時間は 16 時間。インターフェースは USB 2.0。

ソフトウェアは、「Dell Jukebox by MusicMatch」が付属する。また、Windows Media Player 9、RealONE Player からも操作できる。

また、あわせて MusicMatch の音楽配信サービスを利用した「Dell Music Store」も 2003 年 10 月 28 日より米国内向けにオープンする。1 曲当たりの価格は 99 セントで、多くのアルバムが 9.99 ドルで販売される。25 万曲

以上が用意され、年末までに 50 万曲が揃う見通し。

(10/28)

ソニーとドコモ、FeliCa 事業に関する合併会社を設立

ソニーと NTT ドコモは、ソニーが開発した非接触 IC カード技術 FeliCa (フェリカ) 搭載の携帯電話を利用した新たなモバイルサービスの実現に向けて、2004 年 1 月をめぐりに合併会社を設立することで基本的な合意に達したと発表した。

新会社の社名は「フェリカネットワークス株式会社」。資本金は約 60 億円、出資比率はソニー 60%、ドコモ 40%。

新会社では、携帯電話と FeliCa 機能を融合する IC (仮称: モバイル FeliCa IC) チップの技術開発、チップメーカーに対する製造・販売ライセンスを行うとともに、サービス事業者が簡単、便利、安心なモバイルサービスを提供できるプラットフォームの構築、運用を主たる事業とする。

また、この携帯電話へのモバイル FeliCa IC の搭載とサービスプラットフォームをオープンな環境で、広く移動通信事業者各社、コンテンツプロバイダーへ提供していくとしている。

新会社の提供するプラットフォームにより、従来 IC カード上でのみ展開されてきた、交通機関決済や電子マネー、個人認証等の各種サービスが携帯電話においても実現されるとともに、携帯電話のネットワークを利用して、直接バリュー (プリペイド型電子マネー等) や各種コンテンツをダウンロードするという新たなサービスも提供することが可能となる。

NTT ドコモでは、このモバイル FeliCa IC 搭載の携帯電話による試験サービス (プレビューサービス) を今年 12 月に開始し、2004 年度中には国内で同機能を搭載した FOMA/mova 端末を販売する予定。

(10/27)

au、2GHz 帯の 1xEV-DO 方式の商用サービスを都内で開始

KDDI は、2GHz 帯において高速データ通信を可能とする CDMA2000 1xEV-DO 方式による商用サービスを 2003 年 10 月 31 日から東京都内の一部エリアで開始すると発表した。

サービスは、2GHz 帯専用端末「DO-BOX」経由で KDDI の ISP「DION」に接続して、無線パケットデータ通信が可能となるもの。

サービスエリアは東京 15 区 (千代田区・中央区・港区・新宿区・文京区・台東区・渋谷区・品川区・目黒区・豊島区・中野区・板橋区・北区・荒川区・墨田区) の内、環状 7 号線の内側で隅田川以西の地域。今後順次エリアを拡大していく予定。

基本使用料は、無料通信分 19,500 円分を含む月額 21,000 円となり、端末レンタル料として月額 6,000 円、事務手数料 2,700 円が別途必要。

無料通信超過分は 1 パケットあたり 0.1 円で提供されるが、2003 年 10 月 31 日～2004 年 3 月 31 日まではキャンペーン期間として、無料通信分を超過しても利用しても無料となる。

なお、申し込みはインターネットの専用サイトでの受付になる。

(10/24)

Rio Japan、Ethernet 搭載ポータブル HDD オーディオプレーヤー発表

Rio Japan は、ネットワーク対応の HDD デジタル・オーディオ・プレーヤー「Rio (リオ) Karma (カルマ)」を 11 月下旬に発売すると発表した。価格はオープン。

Rio Karma は、1.8 インチ 20GB HDD を内蔵したポータブル HDD オーディオプレーヤー。外形寸法は 77.5 × 29 × 79.5mm (幅 × 奥行き × 高さ)、重量は 168g (電池含む)

対応コーデックは MP3、WMA に加え、オープンソースの圧縮方式 Ogg Vorbis、同じく

オープンソースの可逆圧縮方式FLACも再生可能となっている。著作権保護(DRM)付WMAの転送、再生も可能。

インターフェースはUSB2.0/1.1、もしくはクレードル経由でEthernet接続も可能となっている。DHCPクライアント機能も搭載し、Ethernet接続時にはWeb InterfaceとJavaアプレット版の転送ソフトの利用により、MacintoshやLinux PCとも連携できる。

なお、クレードルは充電機能を備えているほか、ラインアウト(RCA)、USB端子も装備している。バッテリーは内蔵型リチウムイオン充電電池、連続再生時間は15時間。

日本語でのディスプレイ表示も可能で、イコライザ機能、ストップウォッチ機能、日付・時刻表示機能、データストレージ機能も備えている。

また、Rio Nitrusと同じ1インチ1.5GB HDDを内蔵したポータブルプレーヤー「Rio(リオ) Eigen(アイガン)」も同時に発売する。

(10/23)

オンキヨー、IntegraブランドのNet-Tune対応AVアンプを発表

オンキヨーは、ハイエンドAVコンポーネントIntegraブランドの新製品として、Net-Tuneに対応したAVアンプ「DTX-7」を2003年11月20日に発売すると発表した。

DTX-7は、145W×7chの定格出力(6時)が可能なAVアンプ。

独自のネットワーク音楽配信システム「Net-Tune」に対応しており、PC内のMP3、WMA、WAV形式の音楽データをEthernetで転送、ストリーミング再生ができる。また、インターネットラジオ機能も搭載しており、登録されたラジオ局から好みの局を選択できる。

MP3やWMAなどインターネット上で多用されるデジタル圧縮音声フォーマットのほとんどに対応するデコーダーを搭載するだけでなく、VLSICを介することにより、一般的に「ノイズの影響を受けやすい」とされてい

るこれらの圧縮フォーマットが持つ本来のクオリティを最大限に引き出せるとしている。

最大8ステップまでのマクロ機能が記憶できる学習リモコンが付属し、予定希望小売価格は¥200,000(税別)

(10/22)

au、高速と定額制を実現した「CDMA 1X WIN」の提供を開始

KDDI、沖縄セルラーは、最大2.4Mbpsの高速データ通信を可能とするCDMA2000 1xEV-DO方式を利用し、従来の第3世代携帯電話をさらに進化させた「CDMA 1X WIN」を、2003年11月28日から全国一斉に開始すると発表した。

「CDMA 1X WIN」は、データ専用のシングルネットワークにより低コストで高速なデータ通信を可能とするCDMA2000 1xEV-DO方式のインフラをベースにしており、下り最大2.4Mbps、上り最大144kbpsのベストエフォートを実現している。

CDMA2000 1x、cdmaOne方式との互換性により、全国におけるシームレスな音声・データ通信の利用が可能で、サービス開始と同時に全国で利用できる。ただし、CDMA2000 1xEV-DOのインフラ展開は、サービス開始時に関東・中部・関西の3大都市圏、2004年3月末に全国主要都市、2004年9月末に全国というスケジュールになっている。

さらに、携帯電話で初めて、Eメールを含むEZwebの通信料が月額4,200円で使い放題となるパケット通信料定額サービス「EZフラット」が導入される。

また、高速通信と定額パケットプランを活かしたコンテンツサービス「EZチャンネル」をスタートする。

(10/22)

「無線LAN倶楽部」と「Mzone」本格ローミングを開始

エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム(NTT-BP)が開東大手民鉄4社

と共同で展開している無線スポットアクセスサービス「無線LAN倶楽部」は、NTTドコモとの提携により、NTTドコモが提供する公衆無線LANサービス「Mzone」(エムゾーン)との本格ローミングサービスを2003年10月28日より開始すると発表した。

今回の提携により、無線LAN倶楽部のユーザーおよびMzoneのユーザーは、10月28日より両サービス提供エリア内でローミングサービスを利用することができる。

現在、無線LAN倶楽部は主要駅48駅、駅周辺施設等47ヶ所(一部展開予定エリア及びローミングトライアルエリアを含む)でサービスを実施しているが、今回の「Mzone」との本格ローミングにより、周辺施設等の提供エリアは216ヶ所が増え、主要駅49駅、駅周辺施設等263ヶ所と大幅に拡大する。

ローミングサービスでは、通常のサービス利用料金に加え追加料金が必要となり、無線LAN倶楽部のユーザーがMzoneのサービス提供エリアでローミング接続をする場合は400円、Mzoneのユーザーが無線LAN倶楽部のサービス提供エリアでローミング接続をする場合は500円がそれぞれ必要となる。

このローミングサービスは初回ログイン時から24時間に限りサービス利用が可能となっている。

なお、無線LAN倶楽部の契約者はローミングサービス開始日より2003年11月末日まで「Mzone」のエリアを無料で利用できる、ローミング料金無料キャンペーンが実施される。

また、NTTドコモでは、Mzoneのサービスプランに月額500円を追加するほか、初回利用時に限りMzoneの日額プランもしくはローミング利用料金などが無料となる「Mzoneトライ!キャンペーン」を10月28日から2004年3月31日までの期間で実施する。

(10/21)

エニミュージックのサービス、2004年春開始

ケンウッド、パイオニア、シャープ、ソニーが設立したエニミュージック企画は、オ

オーディオ機器向けにインターネットから音楽を直接配信するサービス「エニーミュージック」を2004年春にも開始すると発表した。

エニーミュージックのサービスに対応する機器は、以下のような機能を備える。

- 高音質の楽曲試聴、検索機能を利用した楽曲のオンライン購入
- (初回登録により、継続使用時の課金・決済操作を省略化することができる)
- ランキング、アーティスト一覧など様々な関連情報の閲覧
- 放送中のラジオ番組のオンエアリスト等の閲覧
- メニューからCDのオンライン購入
- オンライン購入した楽曲のポータブル機器への転送・持ち出し

これらの機能をリモコンの簡単操作で利用できるようになっている。

なお「エニーミュージック」の事業開始にあたっては、国内主要レーベル各社が共同出資している音楽配信事業者レーベルゲートとシステム連携および同社を通じた各レコード会社による音楽配信において協力を得る予定。

また、エフエム東京でオンエアリスト等閲覧の実験を行いながら、ほかの放送事業者に対しサービス実現に向けた働きかけをするとともに、さらにはCD物販事業者とも協力し、新しいミュージックスタイルの提供を実現していくとしている。

対応製品についてはソニー、アイワ、シャープ、ケンウッド、パイオニアの4社5ブランドがサービス開始に合わせて商品化の予定。

(10/21)

iTunes for Windows 日本語版の公開延期

アップルは、2003年10月21日に予定していた iTunes for Windows 日本語版の公開を延期すると発表した。

ダウンロード開始日は近日中に改めて告知するとしている。

なお、英語版の日本語 OS 環境での動作は保証しておらず、日本語版の使用を推奨している。

(10/21)

iTunes for Windows のダウンロードが 100 万件に

米 Apple は、デジタルジュークボックスソフトウェア「iTunes for Windows」のダウンロード件数が、2003年10月16日の提供開始後わずか3日半で100万件を超え、同期間中の iTunes ユーザーによる楽曲購入・ダウンロード件数も100万曲を超えたと発表した。

これは、iTunes Music Store サービス開始当初は100万曲のダウンロードに達するまで1週間かかっていたのに比べて良好な滑り出しとしている。

これで iTunes Music Store はサービス開始以来、のべ1,400万曲以上のダウンロードを達成したことになるという。

(10/21)

アップル、第3世代 iPod 用ソフトウェアをアップデート

アップルは、第3世代 iPod (Dock 対応モデル) 用の最新ファームウェア「iPod ソフトウェア 2.1」を公開した。

iPod ソフトウェア 2.1 を適用することで、以下の機能が追加、強化される。

- On-The-Go プレイリスト機能の強化
- 操作パフォーマンスの向上
- ミュージッククイズ・ゲームの追加
- バックライト機能の向上
- バッテリー残量表示メーターの向上
- Windows でも AAC 形式の音声ファイルを利用可能

Mac OS X 用と Windows 2000/XP 用が用意され、プログラムサイズは Mac 版が 16.2MB、Windows 版が 18.9MB。

また、あわせて Belkin による第3世代 iPod 用アクセサリ、ボイスレコーダー「Belkin Voice Recorder」とフォトストレージ用メ

ディアリーダ「Belkin Media Reader」が利用できるようになる。

(10/17)

Apple、iTunes Music Store を第2世代に

米 Apple は、有料音楽配信サービス「iTunes Music Store」の第2世代の提供を開始したと発表した。

新たに iTunes for Windows を提供し、iTunes Music Store は Windows ユーザーにも Mac ユーザーと同様の検索しやすいミュージックカタログ、同じ個人利用権、一曲当り99セントの価格などの特長を提供する。

また、新しい機能として親が子供の iTunes Music Store 口座に毎月資金を自動的に預金することができる「Allowance (アロウアンス)」機能を提供する。Apple はこの技術の特許出願中としている。

さらに、e-mail で音楽を友達や家族に贈ることができるオンライン商品券機能も新たに提供される。

iTunes Music Store はサービス開始以来、のべ1,300万曲以上のダウンロードを誇り、2003年10月末までには40万曲以上を提供する予定。

なお、iTunes Music Store で楽曲を購入するには、請求先の住所が米国国内にあるクレジットカードが必要。

また、America Online との間で、米国在住の AOL の2,500万人以上の会員を対象に、ワンクリックで iTunes Music Store にすぐ登録できるようにするオンラインミュージックサービスは今四半期後半にスタートさせるため提携した。

America Online は、iTunes のアーティスト、アルバム、楽曲に、同社の主要な音楽サイトである AOL Music からリンクできるようにし、AOL の会員は、音楽関連のニュースやレビューを読みながら iTunes Music Store の特定のページに直接リンクし、楽曲を購入することができるようになる。

(10/17)

アップル、iTunes for Windows の提供を開始

アップルは、Mac 版に加えて新たに Windows に対応した革新的なデジタルミュージックボックスソフトウェア「iTunes (アイチューズ) for Windows」の提供を全世界で開始したと発表した。

iTunes for Windows の対応 OS は、Windows XP と Windows 2000。英語版が Apple Computer の iTunes のページから無償でダウンロードが可能となっている。

オーディオ CD からの MP3 および原音に忠実な AAC エンコーディング、スマートプレイリスト、250 以上の無料インターネットラジオ局、そしてカスタムプレイリストの CD や MP3 CD への記録、ミュージックコレクション全体をバックアップするためのコンテンツの DVD への記録といった機能を備えている。

また、ネットワーク上で Rendezvous を使用し Mac、Windows の両プラットフォームのコンピュータ同士での音楽の共有も可能となっている。

さらに Apple Computer が運営する有料音楽ダウンロードサービス「iTunes Music Store」にアクセスする機能も含まれている。ただし、iTunes Music Store からの楽曲の購入およびダウンロードには、請求先が米国内で有効期限内のクレジットカードが必要となる。

なお、日本語 OS 環境での iTunes for Windows 英語版の動作は保証しておらず、日本語版の使用を推奨している。日本語版は、10月21日からアップルの iTunes のページで公開される予定。

(10/17)

SME、Intel と携帯機器向けコンテンツ提供で提携

Sony Music Entertainment (SME) と Intel は、Intel の技術を採用した高性能な携帯電話や PDA で、ユーザーが音楽や画像、動画など、SME のコンテンツを利用できるように協力すると発表した。

両社は、Intel Personal Internet Client Architecture (Intel PCA) に基づいた携帯端末向けに、SME のモバイル・アプリケーションやサービス、コンテンツを最適化し、携帯電話でも PC と同等のデジタル音楽とビデオが再生できるように協力する。

また両社は、PC 用のマルチメディア・コンテンツを携帯電話で利用可能にするアプリケーションを含め、Intel の技術を採用した携帯電話向けの将来のアプリケーションやサービスを共同開発する計画。

この提携による最初の製品は、通信事業者や携帯電話メーカーを通じて、2004 年に提供される予定。

(10/17)

FM 多重放送を利用した CDDB 配信サービス 2004 年春より開始

エフエム東京、米 Gracenote、富士通テン、メディアクリックは、米 Gracenote が所有する CD 楽曲データベース (CDDB) を FM 多重放送により配信するサービス「FM de TITLE(仮称)」を共同開発、2004 年春より開始すると発表した。

同サービスにより、FM 多重放送を利用して CDDB の曲情報を更新できるようになるため、インターネット接続環境を持たないオーディオ製品や車載製品などでも、新曲を含む最新の情報が利用可能となる。

具体的な各社の取り組みについては、富士通テンが同サービス対応の車載用製品を開発、Gracenote が CDDB を提供、FM 東京はインフラを提供する。

新サービス用のデータベース作成はメディアクリックが担当する。同社は 2001 年にトヨタ自動車と FM 各局が共同で設立。FM 多重放送を活用した情報配信サービスを展開している。

(10/16)

9 月末の DSL 加入者数は 900 万突破

総務省から 2003 年 9 月末時点の DSL 加入者数の速報が発表された。それによると加入者数は 9,228,686 で、これは前月末の 3.9% 増。増加率は前月から 0.1% のマイナス。

内訳を見ると NTT 東西のフレッツ ADSL での加入者が 3,435,118。他事業者経由の DSL 加入者が残りの 5,793,568。NTT 東西のフレッツ ADSL のシェアは 37.2% と前月から 0.3% のマイナス。

(10/16)

マイクロソフト、「Media Center Edition 2004」を発表

マイクロソフトは、テレビや音楽、デジタル写真、ビデオ、DVD などの様々なデジタルエンターテインメントがより身近に簡単に楽しめる Windows XP をベースとした最新のオペレーティングシステム (OS)「Microsoft Windows XP Media Center Edition 2004 (MCE 2004)」日本語版を発表した。

MCE 2004 は、Windows XP の機能に、OS 上で統合された専用操作画面「メディアセンター」を実装し、テレビや音楽、デジタル写真、ビデオ、DVD などの機能が追加され、またアプリケーションの選択がスムーズに統合的に入る家庭向けのエディション。

従来の Windows XP のユーザーインターフェイス (UI) に専用操作画面「メディアセンター」を追加することで、マウスやキーボードのみならず、リモコンで PC が操作できる。

リモコンのスタートボタンを押すだけで、「メディアセンター」が起動し、テレビや音楽などのデジタルコンテンツを離れたところからでも、直感的にリモコンで操作できる。

MCE 2004 は、OS 単体での販売は行われず、パートナー各社より「メディアセンター PC」の形で提供される。

MCE 2004 搭載機は TV チューナー/エンコーダーチップの搭載や、リモコンの装備が義務付けられる。日本では富士通、東芝、NEC、デルコンピュータ、ソーテック、日立製作所、エムシージェイ(マウスコンピュータ)、ビジ

ユアルテクノロジーが MCE 2004 搭載機を
発表。

また、メディアセンターPC 向けのソフト
ウェア開発キット (SDK) をパートナー向け
に提供することで、メディアセンターの機能
を OEM や開発者が柔軟に拡張することが可
能になる。パートナーは、ブロードバンドを
活用した映画や音楽のオンライン配信やゲー
ムやその他のソフトウェアを開発および提供
することで、ユーザーへの新たな付加価値を
提供することができる。

(10/15)

クリエイティブ、HDD プレーヤ ー「NOMAD Jukebox Zen Xtra」 を発表

クリエイティブメディアは、大型の液晶デ
ィスプレイを搭載した HDD オーディオプレ
ーヤー「NOMAD Jukebox Zen Xtra 60GB」
を 2003 年 10 月中旬より発売すると発表し
た。

液晶ディスプレイも NOMAD Jukebox
Zen NX 20GB/30GB と比べ約 1.5 倍大き
くなり、視認性が大幅に向上している。日本語
表示に対応し、ブルー-EL バックライトを搭
載、表示解像度も 132 x 64 ドットから 160 x
104 ドットに高解像度化された。

HDD 容量は 60GB。MP3(VBR 対応)、
WMA、WAV の再生に対応。著作権保護
(DRM)付き WMA ファイルの転送と再生に
も対応する。

インターフェースは USB2.0/1.1。交換可能
なリチウムイオンバッテリーを内蔵し、最大
14 時間の連続再生が可能となっている。

新ソフト Creative NOMAD Explorer に
より音楽以外のデータをエクスプローラー上
でドラッグ&ドロップによる転送が可能とな
り、ミュージックライブラリへのアクセスも
可能なため、ドラッグ&ドロップによる音楽
データの転送やプレイリストの作成、転送の
操作が快適になっている。

(10/14)

Beep Science、携帯電話での P2P 対応 DRM 技術を発表

Beep Science は、Warner Music と
Bertelsmann と共に、携帯電話で著作権を保
護しながらファイル交換を行うことのできる
DRM 技術「OMA DRM」を開発したと発表
した。

OMA DRM は、業界団体 Open Mobile
Alliance (OMA) が開発した規格をベースに
しており、レコード会社は中央サーバーから
ダウンロードされた楽曲の代金を徴収でき
るとしている。

また、マルチメディアメッセージング
(MMS)機能付きの携帯電話を持つユーザー
で構成される非公開の P2P ネットワークで
交換される楽曲にも対応できるとしている。

OMA DRM は、まず Nokia の携帯電話
「6220」に対応する。

(10/11)

有線ブロード、集合住宅取付棟数 が 2 万棟を突破

有線ブロードネットワークスは、ブロード
バンド事業 (FTTH ブロードバンドインター
ネットサービス) について、2003 年 9 月末時
点の進捗状況を発表した。

これによると、工事日が確定している契約
者数が 160,947 件、回線が開通している取り
付け数が 96,820 件となった。

前月 2003 年 8 月末時点のもの比べると、
契約者数で約 11,700 件、取り付け数で約
8,000 件となる増加となっている。

なお、集合住宅における 1 棟あたりの平均
加入戸数は 4.13、集合住宅取付棟数は 21,431
となっている。

(10/10)

Roxio、「Napster 2.0」を発表

米 Roxio は、有料音楽ダウンロードサービ
ス「Napster 2.0」を 2003 年 10 月 29 日から
提供すると発表した。

料金コースは、1 曲 99 セントかアルバム 1
枚につき 9.95 ドルの従量制、もしくは月額
9.95 ドルで無制限にダウンロードできるプレ
ミアムサービスを設定している。

Napster 2.0 では、開始当初 50 万曲を用意。
40 局のネットラジオ番組の視聴も可能。気
に入った曲をメールで送信したり、プレイリス
トを他のユーザーと共有したりすることもで
きる。

Napster 2.0 は、Windows Media Audio 9
を採用、Windows Media Player 9 のプレミ
アムサービスタブからもサービスを利用でき
る。

また、Roxio と米 Microsoft の両社は、メ
ディアエンターテインメント機能を充実させた
OS「Microsoft Windows Media Center
Edition 2004」に Napster 2.0 を導入したこ
とも発表した。

これを受けて、米 Gateway では、Napster
2.0 Media Center バージョンをプリインス
トールし、楽曲も 150 曲を収録した PC
「Gateway 610 Media Center」を 2003 年
10 月中にも発売する。

さらに、韓国サムスン電子からも、Napster
2.0 に対応し FM トランスミッターを搭載し
たポータブルオーディオプレーヤー
「Samsung-Napster Player」が 2003 年 10
月 19 日に BestBuy などで発売される。

(10/10)

メモリスティックの出荷枚数が 5,000 万枚を突破と発表

ソニーは、メモリスティックの累計出荷
枚数が今秋に 5,000 万枚を突破したと発表し
た。1998 年 9 月の発売以来、5 年目での達成
となる。

メモリスティック対応製品についても累
計出荷台数 5,000 万台に到達、賛同企業数も
2003 年 9 月末時点で 480 社を超えていると
している。

2003 年 9 月 5 日には「メモリスティック」
にて動画コンテンツを携帯する新しいアプリ

ケーション「モバイルムービー」を提案。静止画、音楽に加え、動画においても「メモリスティック」でつながる世界をさらに広げていくとしている。

(10/7)

松下、HighMAT 対応ポータブル CD プレーヤーを発表

松下電器は、HighMAT に対応し、世界最長約 200 時間の連続再生を実現したポータブル CD プレーヤー「SL-CT810」を 2003 年 11 月 10 日に発売すると発表した。

「HighMAT(ハイマツト)」は、Microsoft と松下電器が共同開発した、PC 上のデジタルコンテンツを AV 機器で利用する際の保管/再生/検索に関する CD-R/RW 記録用の新規格。CD-R/RW に記録した WMA、MP3 ファイルの再生に対応し、アーティストやジャンルごとなどの検索が簡単に行なえる。

バッテリーは角型ニッケル水素電池×2 本を使用。別売の単 3 アルカリ電池も利用できる。

色は、シルバー(-S)とブラック(-K)の 2 種類。

(10/6)

MPEG LA、著作権管理技術のпатентプール計画を公表

MPEG 特許のライセンス管理会社米 MPEG LA, LLC は、デジタル著作権管理(DRM)関連技術で、次の標準となるべき DRM Reference Model v 1.0 に関する技術のпатентプールを設立すると発表した。

MPEG LA は、патентプールの運営およびそのライセンス事業を専門としており、ノウハウを次世代の技術ともいわれる DRM にも適用する。

MPEG LA では、Microsoft や IBM が販売しているようなコピー防止製品を再生しようとしているだけでなく、海賊版防止技術の登場を妨げている法的/技術的/ライセンス問題関連の混乱を解消することが目的としている。

MPEG LA は、コピー防止技術の特許を持っている企業に対してその技術の提出を要請。特定の技術がこの記述に沿っていると MPEG LA が認めれば、特許所有者の許可を得て、ライセンス可能な特許のリストに記載される。このリストはコンテンツ保護の要素を取り入れたデバイスやソフトの作成を望む個人や企業に提供される。

今回提唱する DRM Reference Model では、第 1 段階の特許提出をいったん 2003 年 11 月 15 日に締め切る。そして DRM Reference Model を推進する第 2 段階の作業として、2003 年 12 月 31 日までに集めた特許の重要度などを評価する。続く第 3 段階でライセンスの一括供与条件について特許所有者と協議するとしている。

(10/4)

NTT ドコモ、「M-stage music」を来年终了

NTT ドコモは、PHS 端末を利用した音楽配信サービス「M-stage music」を 2004 年 9 月末で終了することを契約者向け DM の中で明らかにした。

「M-stage music」は、音楽データのダウンロードに対応した PHS 端末を使って、端末をミュージックプレーヤーのように利用できる音楽配信サービス。

圧縮方式には AAC と ATRAC3 を採用し、2001 年 1 月 15 日からサービス開始された。

同時に、2004 年 3 月末で PHS 端末を利用した映像配信サービス「M-stage visual」も終了することを明らかにしている。

なお、2002 年 10 月から提供されている「M-stage V ライブ」「M-stage book」などは引き続き提供される。

(10/3)

東芝、手のひらサイズのモバイル機器用小型燃料電池を開発

東芝は、携帯電話などのモバイル機器に使える出力 1W で、容積を 140cc、重量 130g まで小型化した手のひらサイズの小型燃料電池

の開発に成功したと発表した。

開発品は、高濃度メタノールを発電時に生成された水で、発電に適した濃度に希釈する「希釈循環システム」を採用し、少ない燃料でも長時間の発電ができるため、高濃度メタノールを 25cc 供給した場合には約 20 時間の発電が可能となっている。

また、「送液、送気システムの改良とポンプの小型化」によって燃料タンクの小型化、システム全体の小型化、燃料の効率的利用を可能にした小型燃料電池を実現している。

ちなみに出力 1W は、携帯電話のリチウム電池(3.7V、600mAh の場合)で約 6 個分に相当するという。

東芝では、今後はさらなる小型化と出力の向上(2W 程度)をはかり、2005 年中の製品化を目指すとしている。

(10/3)

NTT Com、秋葉原電気街で HOTSPOT の屋外サービスを開始

NTT コミュニケーションズ(略称:NTT Com)は、無線 LAN サービス「ホットスポット」を 2003 年 10 月 3 日(金)より秋葉原電気街において屋外で提供開始すると発表した。

提供エリアは JR 総武線ガード下から日本通運ビル付近まで。11 月中には万世橋から末広町交差点手前付近までの中央通り沿いのエリアまで拡大される。

CoDen OPEN ブラン、CoDen OPEN ブラン・ライト、OCN ホットスポット、他提携先 ISP のホットスポットサービス、1DAY PASSPORT を含む、ホットスポット利用者は追加料金なしで利用することができる。

また、秋葉原での屋外サービスの開始にともない、ホットスポットの加入促進キャンペーンも行うとしている。

(10/3)

サン電子、「BiBio」対応のストリーミング放送システムを発表

サン電子は、2002年9月に発売したインターネットラジオ「BiBio」に音声ストリーミング用サーバーシステム「BiBioCast」を加えた「BiBio ストリーミング放送システム」を2003年12月に発売すると発表した。

BiBioCast は、音声入力をリアルタイムにMP3 エンコードしてストリーミング配信できる放送システム。MP3 は 32kbps から 128kbps までのエンコードが可能。

ハードディスク内に保存した MP3 をプレイリストに従って配信することもでき、BiBio と連動した認証システムや、Web ブラウザによる管理機能なども搭載する。

サン電子では、地域コミュニティや全国チェーン店の同時放送といった手軽な専用放送局網を構築したいという要望に対して BiBio ストリーミング放送システムを販売していくとしている。

また、従来機の BiBio からスピーカーやメモリスティックスロットを省略、新たに無線 LAN に対応した廉価版モデル「BiBio2」も同時に発売する。

(10/2)

SMEJ、「レーベルゲートCD」をバージョンアップ

ソニー・ミュージックエンタテインメント (SMEJ) は、2003年1月22日より導入しているネットワーク認証型コピーコントロールCD「レーベルゲートCD」のバージョンアップを実施し、「レーベルゲートCD2」として、傘下レーベルカンパニーからの発売タイトルに導入すると発表した。

従来の「レーベルゲートCD」では、パソコンで再生する際、事前にインターネットでの個別認証手続きを経た上でハードディスクへ複製することが必要だったが、今回の「レーベルゲートCD2」では、それらの手続きを経ることなく、音楽再生ソフトウェア「MAGIQLIP2」が作動し、直接再生することができる。

なお、ハードディスクへ複製して音楽を楽しむ場合には、従来通りインターネットでの個別認証手続きが必要。

さらにハードディスクに複製された音源は NetMD 等の「OpenMG」に対応した機器等へ指定された回数で「チェックイン・チェックアウト」ができる。

また、ハードディスクへの複製については、個別認証手続きにて複製回数をカウントすることにより、パッケージ毎に定められたライセンス価格が発生することになる。

ライセンス価格については、一回目の複製について当面0円とし、二回目以降の複製については、あらかじめ定められたライセンス価格が発生することになる。

邦楽シングルについては2003年11月6日以降、邦楽アルバムについては2004年1月下旬以降、それぞれ導入する予定としている。

(10/2)

サムスン電子、世界初の 4G ビット NAND 型フラッシュメモリーを開発

韓国サムスン電子は、70nm (ナノメートル) 工程技術を適用した 4Gb (ギガビット) NAND 型フラッシュメモリーを開発したと発表した。

サムスンでは、NAND 型フラッシュメモリーを、1999年の256Mb製品を筆頭に、2000年に512Mb、2001年に1Gb、2002年の2Gb、そして第4世代となる4Gbと、1年で容量が2倍となるペースで開発している。

今回開発した NAND 型フラッシュメモリーに 70nm プロセスを適用したことにより、世界最小 0.025 μm^2 というメモリーセルサイズを実現している。

また、業界で初めて 300 (オングストローム) 厚の W (タングステン) ゲートを採用し、高い性能を確保した。

今回の 4Gb NAND 型フラッシュメモリーが商用化されると、4Gb(ギガバイト)クラスのハードディスクの代替や 8Gb クラスのメモリーカードの供給も可能になると期待している。

(10/1)

ビクセラ、世界初の 3 セグ対応地上デジタルラジオを発表

ビクセラは、2003年10月10日から首都圏、近畿圏で実用化試験放送が開始される地上波デジタルラジオ放送の1セグメント/3セグメント両方式に対応した受信機を開発中であると発表した。

その第1号機として PC カードタイプの製品を2004年7月に発売予定であるとしている。

エフエム東京が富士通に2002年4月に製作を依頼した、3セグメント受信対応の OFDM(Orthogonal Frequency Division Multiplexing: 直交周波数分割多重)復調 LSI を採用。ビクセラが富士通と協力し、同 LSI とカードバスコントローラの1チップ化に成功したものの。

地上波デジタルラジオ放送で使用される音声フォーマットは AAC。1 セグメントあたりの伝送帯域幅は 432kHz で伝送容量は 330kbps、3 セグメントの場合は 1,296kHz の帯域を使い 990kbps の伝送が可能となっている。

144kbps 以上で CD に迫る高音質での放送が提供されるほか、静止画を含めた文字放送も実現される。また、3 セグメント放送ではデータ配信や簡易動画配信も可能となる。

ピクセラでは、将来的に CF カード型を始め、PDA や携帯電話、車載機器などへの受信機搭載や、デジタルラジオ専用受信機の開発も計画しているとしている。

(10/1)

JR 西日本など、共用方式によるホットスポット実験を開始

西日本旅客鉄道 (JR 西日本) 西日本電信電話 (NTT 西日本) 及び NTT コミュニケーションズ (NTT Com) は、複数の無線 LAN 事業者が 1 つのアクセスポイントを共同で利用する方式 (VLAN 及びローミング) により、駅構内における無線 LAN によるインターネット接続サービス「エキ LAN スポット」の実証実験を 2003 年 10 月 1 日 (水) から開始すると発表した。

「エキ LAN スポット」のエリアは、新大阪駅の在来線改札内にある乗換待合スペース、喫茶「フローラ新大阪」、新神戸駅の新幹線改札内の待合スペースの 2 駅 3 カ所。

実験モニターは NTT 西日本の「フレッツ・スポット」、NTT Com の「HOTSPOT」、実験参加プロバイダーの利用者のうち、モニターの登録を行なったユーザー。

実験参加プロバイダーは @nifty、OCN、ODN、So-net、T-com、さらに BIGLOBE、b モバイル、DION、JENS SpinNet、Panasonic hi-ho、シャープスペースタウン、ぶららが追加される予定。

実験期間は 2003 年 10 月 1 日から 2004 年 3 月 14 日まで。

(9/30)

ソニースタイル、80GB HDD 搭載のオーディオレコーダを限定販売

ソニーマーケティングのソニースタイルドットコム・ジャパンカンパニーは、「ソニースタイル」にて HDD オーディオレコーダ「HAR-LH500」「SS-Exec(エグゼ)」を期間限定で販売すると発表した。

高さ 65mm のスリムデザインを採用した HDD オーディオレコーダで、CD プレーヤーと 80GB HDD を搭載する。

録音フォーマットは ATARAC3 と PCM で、ATARAC3 のビットレートは 132kbps。CD から HDD への録音速度は最大 12 倍速 (PCM)/3 倍速 (ATRAC3)。PCM で HDD に記録したオーディオデータを ATRAC3 に変換する機能も搭載している。

パソコンと USB で接続し、専用アプリケーション「M-crew for HAR-LH500 Ver.2.6J」を利用して、インターネット経由で「Gracenote CDDB サーバー」から、CD 情報の取得も行なえる。

ただし、言語は英語のみのサポートで、本体ディスプレイの日本語表示はカナ表示のみに対応する。

2003 年 9 月 30 日 13 時から同 10 月 17 日 17 時までの限定受注販売となっており、出荷時期は同 12 月中旬から下旬を予定している。価格は 49,800 円。

(9/30)

松下、モバイル向け 3D 音響技術を発表

松下電器産業は、ノート PC やポータブル機器での 3 次元音響再生を、省電力で高品位に実現するハイパーサラウンドシステムを開発したと発表した。

新システムは、人体頭部形状の高精度モデリングと境界要素法による数値計算を組み合わせたデジタル音響特性 (HRTF) 技術、発音点を耳に設置することで、人間を中心とする全方向の HRTF を超高速に計算するリバーブ解析技術、人体頭部の各部寸法に基づき、その形状を変形させるヒューマンモーフィ

ング技術から構成される。

従来、HRTF はダミーヘッドや実際の人の耳を用いて測定しており、測定器の特性や、反射音の影響を除くことが困難なため、本来の HRTF よりもデータ量が増えていた。

新システムでは、音源と耳の間の純粋な HRTF を計算できるため、HRTF を表現するデータ量を大幅に削減しても、正確な音像定位が得られる。また、データ量の削減により、省電力化が可能となっている。

この技術は 2003 年 11 月発売のオーディオソフト SD-Jukebox Ver4.0 に搭載される。また、今後、ポータブルオーディオ機器や携帯端末機器への展開を検討していくとしている。

(9/30)

米 Musicmatch、WMA9 による音楽配信サービスを開始

米 Musicmatch は、Windows Media Audio 9 を採用した有料音楽配信サービス「Musicmatch Downloads」を開始した。

5 大メジャーレーベルや、30 以上のインディペンデントレーベルなど 20 万曲以上の楽曲が提供されている。毎週数千曲の追加を予定しており、年末には 50 万曲を越えるとしている。

購入時の決済はクレジットカードとなり、米国居住者でなければ利用できない。価格は 1 曲あたり 99 セント、ほとんどのアルバムが 9 ドル 99 セント。

サービスは、同社のジュークボックスソフト「Musicmatch Jukebox 8.1」から利用する。ダウンロード購入した楽曲は 3 台までの PC で同時に利用できる。また、5 回までの CD-R への焼き込みも可能となっている。

配信形式はビットレート 160kbps の Windows Media Audio 9。クリエイティブや Rio など WMA9 の著作権保護機能をサポートする 20 以上のポータブルプレーヤーへの転送も可能となっている。

また、特許出願中のパーソナライズ機能を

備えており、ユーザーの好みに合った音楽を教えてくれる機能も提供。1960年から2003年まで年代別、100を超えるジャンル別で楽曲は検索することができる。

Musicmatch Jukebox 8.1の対応OSはWindows 98 SE/Me/2000/XP、Internet Explorer5.5以上が必要となる。

(9/30)

Dell、コンシューマ・エレクトロニクス市場に参入

米Dellは、コンシューマ・エレクトロニクス分野に参入することを表明し、米国市場において、デジタル音楽プレーヤー、音楽ダウンロードサービスなどを含む、デル製のデジタル・エンターテインメント製品シリーズを、ホリデーシーズンに向けて投入する計画を明らかにした。

米国市場において、ホリデーシーズンに向けて発売されるデルのコンシューマ・エレクトロニクス製品は以下の通り。

Dell Digital Jukebox (DJ): デジタル音楽プレーヤー

Dell Music Store: 音楽ダウンロードサービス

Dell W1700 LCD TV: 多機能液晶テレビ

Dell Media Experience: 家庭向けデジタルメディア管理用ソフトウェア

Dell AximTM X3: 携帯端末 (PDA)

Dell Dimension XPS: ゲーム専用機

Dell 2200MP Projector: 家庭用プロジェクタ

新しいコンシューマ・エレクトロニクス製品の価格や詳細情報は、製品販売開始時に改めて発表される予定。

(9/26)

KDDIと全国FM連合、携帯にFMチューナーを内蔵し新サービス

全国FM連合(代表社: TOKYO FM、J-WAVE)加盟の全53社とKDDIは、FMとモバイルインターネットを組み合わせた「新FMライフスタイル」を提案し、新たなコミュニケーション市場を開拓していくと発表した。

た。

「新FMライフスタイル」は、au携帯電話をFM放送のパーソナルゲートウェイにすることからはじまり、au携帯電話でFM放送を聴く、そのFM放送の詳細情報を得るためにモバイルインターネットで各FM局にアクセス、au携帯電話で情報からモノまで簡単に入手できるというもの。

KDDIでは年内に「FMチューナー搭載au携帯電話」の発売を予定。全国のFM局では、「FMチューナー搭載au携帯電話」とコラボレーションした以下のワンクリック・サービスを展開する。

- (1) リアルタイムでオンエアされている楽曲やアーティストの情報検索が可能。
- (2) リアルタイムでオンエアされているFM局サイトにダイレクトアクセスが可能。
- (3) リアルタイムでオンエアされている楽曲を、着うた等の音楽コンテンツとしてダウンロード(有料)が可能。

同時に、いつでもどこからでもFM局に楽曲リクエストを可能にする新システムの構築をはじめとして、放送と連動した新しいスタイルの番組編成を予定しているとしている。

(9/24)

シャープ、液晶基板にオーディオ回路を一体形成

シャープと半導体エネルギー研究所は、共同開発したCGシリコン技術により、システム液晶パネルのガラス基板上にオーディオ回路を一体形成することに成功したと発表した。

CGシリコン技術は、1998年に両社で共同開発した次世代の機能デバイス「システム液晶」の中核技術。従来では外部LSIを必要としていた液晶制御回路や電源回路、入力インターフェース回路、信号処理回路などをディスプレイと同一のガラス基板上に一体形成することで、実装面積や部品点数を大幅に削

減できるうえ、セット商品の小型化・軽量化が実現できる。

今回開発したのは640×480ピクセル表示対応の4インチパネル。パワーアンプから12ビットD/Aコンバーター、アナログ入力用プリアンプまで集積した。12ビットD/A変換によりDVDの48kHz PCM信号の再生が可能。

この音声を出力する機能は、英国のNew Transducers Ltd.よりホシデンにライセンス許諾されたフラットパネルスピーカ技術に基づいており、DMA素子をガラス基板上に装着して振動させ、ガラス面から音声を放出する特徴を持っている。

このLCDパネルスピーカにより、動画像を閲覧しながら音声を同時に楽しむ機能を提供することから、機器のサイズを大きくすることなく携帯電話やPDA、ポータブルDVDプレーヤーやモバイルテレビといった画像と音声の機能を同時に必要とする、様々なモバイル機器への搭載が可能となるとしている。

(9/22)

三洋電機、MP3/WMA マルチデコード対応LSIを発表

三洋電機は、WMAデコードをハードワイヤード構成として専用回路化したWMAデコーダーLSI LC78685Vを開発したと発表した。

LC7865Vは、既存のCD-DSPと同社のCD-MP3「LC78684E」の基本構成に加えるだけで、CD-DA/MP3/WMA再生が可能なCDプレーヤーを実現できる。

DSPコアで高速演算を行う1チップ構成のCD-MP3/WMA LSIに比べ、半分以下の消費電力となっているほか、小型パッケージ(SSOP24: 8.0mm×5.6mm)のため省スペースでの実装が可能となっている。

2003年9月にサンプル出荷を開始し、サンプル価格は500円。

(9/18)

ソニー、ネットワークウォークマンの上位モデルを発表

ソニーは、ポータブルオーディオプレーヤー「ネットワークウォークマン」の新モデルとして、内蔵メモリを 512MB に増加し、ボディカラーをブラックにした「NW-MS90D」を 10 月 21 日に発売すると発表した。価格はオープンプライス。

前モデル「NW-MS70D」との違いは、内蔵メモリが 256MB から 512MB に増加され、カラーリングがブラックになったこと。

本体サイズや重量は「NW-MS70D」と同じで、外形寸法 36.4 × 48.5 × 18mm(幅 × 奥行き × 高さ)、重量は約 54g (内蔵充電電池含む)、筐体はチタン製で、継ぎ目のない「深絞り加工」を採用、メモリースティック Duo スロットを装備している。

対応フォーマットは ATRAC3plus と ATRAC3。対応ビットレートは、ATRAC3plus が 64/48kbps、ATRAC3 が 132/105/66kbps。電源は内蔵のニッケル水素電池で、連続再生時間は約 33 時間。

なお、付属のイヤホンが耳栓型に変更されている。

(9/18)

レーベルゲート、再生ソフトウェア「MAGIQLIP」をアップデート

レーベルゲートは、2003 年 10 月 8 日正午より、従来のプレーヤーソフト「MAGIQLIP」から新しいプレーヤーソフト「MAGIQLIP 2 (マジクリップ2)」によるサービスへの移行を予定していると発表した。

新バージョンの「MAGIQLIP2」は、画面表示サイズが拡大し、操作性が向上したほか、アルバム単位での楽曲管理に対応している。

プログラムサイズは 13.5MB。対応 OS は Windows 98 SE/Me/2000/XP。また、QuickTime のインストールが不要となっている。

現在「レーベルゲート MQ 方式」で行われている各音楽配信サービスは、2003 年 10 月

8 日正午より全て MAGIQLIP 2 対応に切り替わり、従来の MAGIQLIP では楽曲ダウンロードが出来なくなる。

今までに MAGIQLIP でダウンロードされた楽曲は、MAGIQLIP 2 へ転送することで利用できる。

なお、移行作業にともない 2003 年 10 月 8 日午前 8 時より同日正午までの間は、サービスを休止するとしている。

(9/17)

EMD Magazine 第 33 号

発行 2003 年 12 月 6 日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダース